

* * *

学 会 記 事

* * *

§ 平成 22 年第 3 回日本核医学会理事会
議事録

日 時：平成 22 年 8 月 30 日 (月)
12 時 00 分～16 時 00 分
場 所：日本アイソトープ協会 第 3 会議室

出席者：

理事長：玉木長良

理 事：油野民雄，荒野 泰，伊藤健吾，
井上登美夫，尾川浩一，絹谷清剛，
汲田伸一郎，桑原康雄，小泉 潔，
穴戸文男，千田道雄，中川原譲二，
西山佳宏，畑澤 順，本田憲業，
望月輝一

監 事：小須田茂，阪原晴海

幹事長：志賀 哲

事務局：神田正子

欠席者：

理 事：佐々木雅之，竹田 寛，山崎純一
(敬称略)

議題

I. 審議事項

1. 第 53 回学術総会会長 (1)(玉木長良理事長)
資料の 1 について説明があった。桑原康雄先生に決定した。
2. 技術系理事の選出(定款細則の変更)
(2)(小泉潔理事)
資料 2 に従い説明があった。細則の変更が了承された。総会にて報告をする。
3. 日本核医学会賞・研究奨励賞
(3)(桑原康雄理事)
資料 3 に従い説明があった。承認された。日

本核医学会研究奨励賞は ANM も含まれる。

4. 久田賞 (4)(絹谷清剛理事)
資料 4-2 に従い説明があった。承認された。
 5. 平成 22 年度ワーキンググループ
(5)(油野民雄理事・千田道雄理事)
資料 5 に従い説明があった。承認された。申請者にもコメントを伝えることになった。
 6. 名誉会員，功労会員の推薦
(6)(小泉潔理事)
資料 6 に従い説明があった。社員総会で推薦する 69 歳以上の方で名誉会員候補者はいなかった。70 歳以上で名誉会員以外の方が功労会員となる。とのこと。承認された。
 7. 外科系学会社会保険委員会連合への加盟
(7)(伊藤健吾理事)
資料 7 に従い説明があった。外科系学会社会保険委員会連合に加盟することが承認された。
 8. その他
今回の理事会までに核医学会として賛助会員に対するメンバーベネフィットを明確化してもらいたい。(本田憲業会長より 所属する社員は会員価格で参加することができる。Work in progress に出せる。Home ページに広告が出せるなど 展示ブースは JIRA との関係があるので難しい、演題を出すのに賛助会員の従業員であれば OK とするなど様々な意見が出され次回理事会にかけることになった。)
- II. 報告事項
1. 第 50 回学術総会準備報告
(8)(本田憲業会長)
資料 8 に従い報告があった。次回理事会は 11 月 10 日 14 時～17 時。

2. 第 51 回学術総会準備状況報告
(9)(小須田茂次期会長)
資料9に従い報告があった。原研見学ツアーの資料も配布された。
3. 第 52 回学術総会準備状況報告
(玉木長良次々期会長)
第 52 回学術総会準備状況(2012 年 10 月 11 日～13 日)と会場(ホテルロイトン)の報告があった。
4. 第 11 回春季大会準備状況報告
(玉木長良大会長)
2011 年 5 月 6 日～8 日, 大阪国際交流センターとの報告があった。
5. 会計報告 (10)(油野民雄理事)
資料 10 に従い報告があった。
6. 委員会報告
 - 1) 編集委員会 (4)(絹谷清剛理事)
資料 4, 15-1 に従い説明があった。来月文科省からの監査が入る予定との報告があった。
 - 2) 教育・専門医審査委員会
(11)(汲田伸一郎理事)
資料 11 に従い報告があった。
 - 3) PET 核医学委員会 (12)(宍戸文男理事)
資料 12 に従い報告があった。
 - 4) 健保委員会 (13)(伊藤健吾理事)
資料 13 に従い報告があった。
治療薬の下位に検査(SPECT)が脳梗塞ではきている。おかしいのではないかと意見が出された。関連学会挙げて診療報酬改定にむけて運動をしていきたい。と中川原謙二先生から意見がだされ、他の検査でも同様のことが起こっていないか、認知症の場合を含め調べることとなった。
 - 5) 広報委員会 (尾川浩一理事)
資料(No. なし)に従い報告があった。
Gamut for FDG PET を CD ROM と同じ型式で掲載予定であることが報告された。3;
被爆者 被検者の訂正
- 6) リスクマネジメント委員会
(望月輝一理事)
資料なし。大きな問題はないとの報告があった。
日医放のリスクマネージとの関係で、核医学会でのリスクマネージ改訂はしているのかとの質問があり、引き続き検討することとなった。
- 7) 放射線防護委員会 (14)(本田憲業理事)
資料 14 に基づき説明があった。引き続きの検討となった。
- 8) 倫理検討委員会 (15)(桑原康雄理事)
資料 15 に基づき報告があった。15-1 下から 2 行目の「日本核医学会以外での関連学会刊行物」「日本核医学会分科会の刊行物」に訂正するとのこと。
- 9) 学会賞選考委員会 (桑原康雄理事)
- 10) 放射性医薬品臨床評価ガイドライン作成委員会
(荒野泰理事)
資料 22 に基づき報告があった。Public moment に対する学会での対応を考えたほうがよいとの意見が出された。本委員会と分子イメージング戦略会議にて協議することになった。
- 11) 核医学認定薬剤師に関する検討委員会
(荒野泰理事)
資料 23 に基づき報告があった。
- 12) 将来計画委員会 (畑澤順理事)
関東小児核医学研究会 全国組織にしたいとの希望がある。大阪府立小児養育センターからも希望がある。
PET 核医学歯科認定医について日本歯科放射線学会の中での立場の確立をしていきたい。
- 13) 分子イメージング戦略会議
(16)(井上登美夫理事)
本年 2 月に発足後、4 月以降 5 回の会合を開催している。いわゆる成熟薬剤の在り方の見直し、ならびに医薬品開発機構からの PET 薬剤に関する提言に対応し、本学

会としての PET 製剤に関わる各種基準案の作成， 製造施設の査察・中央 PET 薬剤委員会(仮称)などを含めた新たな体制作りの議論が NEDO の研究活動の支援も含めて行われていること，などが資料 16 に基づき報告があった。

7. ワーキンググループ
(油野民雄理事，千田道雄理事)

8. 分科会活動

1) 腫瘍・免疫核医学研究会
(17)(絹谷清剛理事)

資料 17 に従い報告があった。早くて 9 月一杯になるとの報告があった。

2) 日本脳神経核医学研究会 (畑澤順理事)
伊藤健吾先生から資料 24 に基づき報告があった。

3) 日本心臓核医学会 (18)(玉木長良理事長)
資料 18 に従い説明があった。

4) 呼吸器核医学研究会 (小須田茂監事)
第 23 回の呼吸器核医学研究会が総会最終日に開催される。
COPD に対する肺血流シンチのパンフレットを現在作成中。

5) PET 核医学分科会 (19)(千田道雄理事)
資料 19 に従い説明があった。
参加人数は 524 人であった。

9. 国外学会等連携
(桑原康男理事，油野民雄理事，畑澤順理事)

1) 世界核医学会
9 月南アフリカケープタウンで開催。玉木長良理事長が出席する。

2) 米国核医学会
6 月に開催された。教育セッションでセッションが日米のジョイントで開催された。

3) アジアオセアニア核医学会
(ARCCNM 兼務)

2 年後 Iran の Tehran で開催予定。

4) 日韓中核医学会
2011 年核医学会学術総会で 1 日目に合同で開催予定。

10. その他

1) 核医学専門技師認定機構
(20)(小泉潔理事)

資料 20 に従い報告があった。

2) 日本医学会医学用語委員会
(20)(小泉潔理事)

資料 20 に従い報告があった。

3) 日本がん治療認定医機構
(20) (小泉潔理事)

資料 20 に従い報告があった。

4) モリブデン-99 / テクネチウム-99m の安定供給のための官民検討会(仮称)
(井上登美夫理事)

原子力委員会の方から聴取があり，官民での検討会が必要との結論がでて，明日第 1 回の準備会を開催することになった。核医学会からの意見はどうするかは明日の状況をみてから検討することとなった。

5) 第 47 回アイソトープ・放射線研究発表会
(21)(佐々木雅之先生)

資料 21 に従い報告があった。

III. 確認事項

1. 前回議事録(案) (22)

その他：第 13 回春季大会の会場予約がタワーホール船堀だと平日のみしか取れないので，日本教育会館で開催してよいでしょうかとの提案があり，承認された。